

こどもの幸せのためにできること

特性のあるこどもに対する支援

第3回 基礎編

～事例を通して支援を考える～

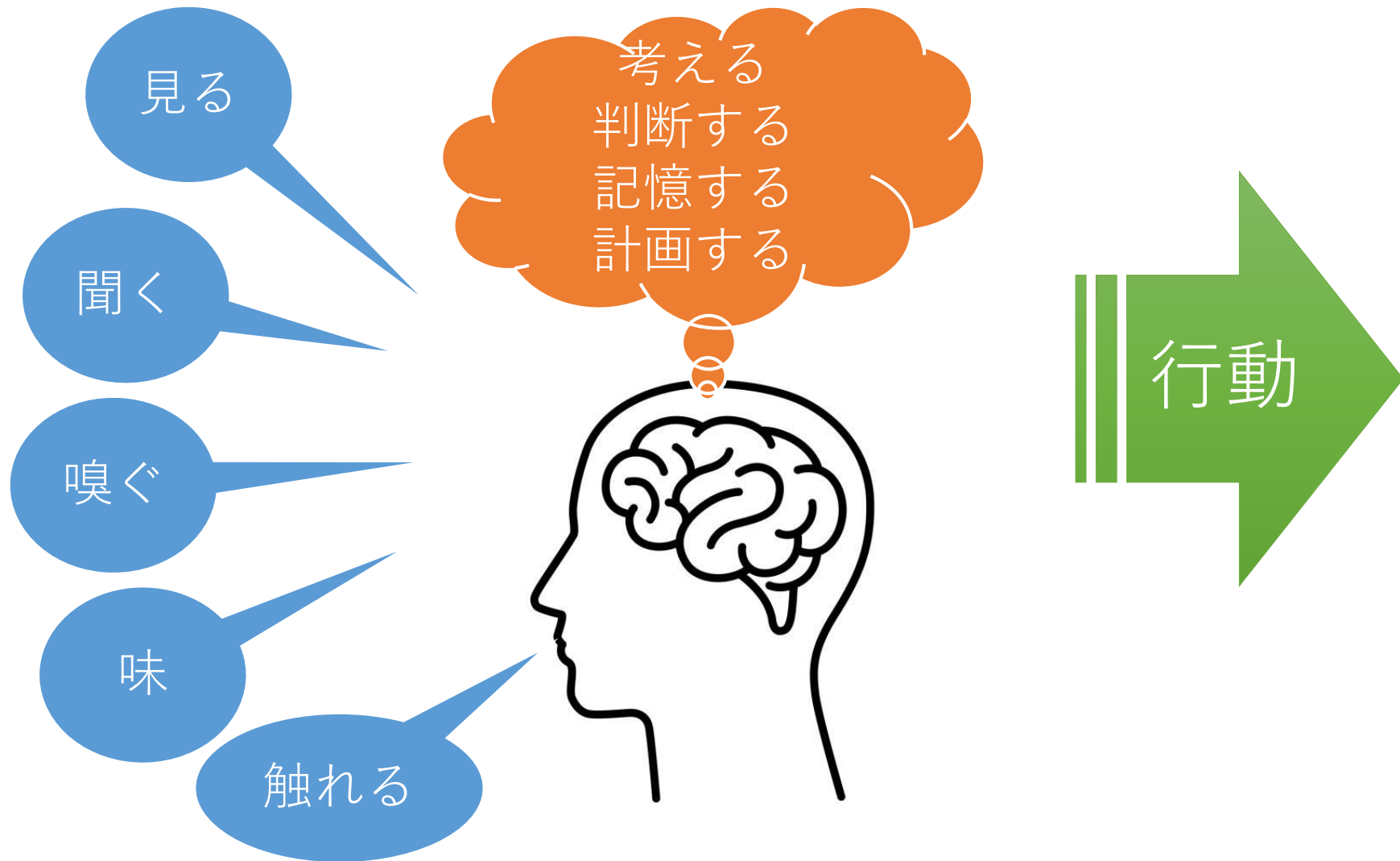
聖隷クリストファー大学
リハビリテーション学部
作業療法学科

NPO法人むく 代表

浜松市発達支援巡回指導員

感覚（感じ方）は行動に影響を与える

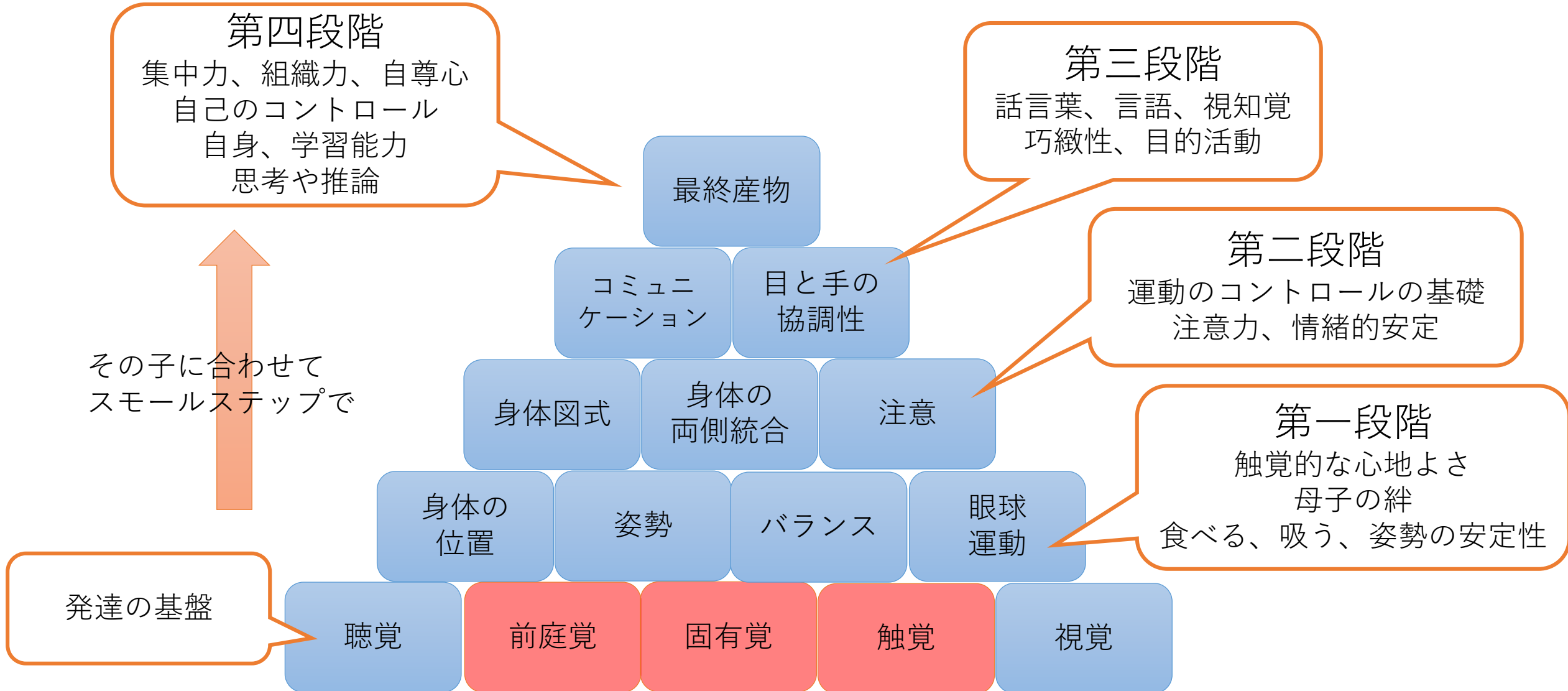
行動



感覚によって脳に、環境の情報が取り込まれ、適切な行動をしている

こどもの発達にも感覚は大事

by Ayres



感覚の発達が未熟

運動

走る
跳び箱
縄跳び
投げる
水泳 など

行動

多動
落ち着きがない
暴力
おとなしい
不注意 など

身辺動作

着替え
排便
歯磨き
お箸
洗体 など

学習

読み書き
文房具の使用
不器用
音楽
体育 など

支援で大事なこと

- ①子どもや保護者と信頼関係を築いているか
- ②ひとりの子どもを園や学校の全職員で支援する体制づくりができて
いるか

やってみたいバレーを通して

感覚運動

ボールを打つ 着地する	固有受容覚刺激
ジャンプする	前庭覚刺激 固有受容覚刺激

プロセス

ボールを打つ	<ul style="list-style-type: none">・動いているボールを見る・ボールの動きを予測・ボールの動きに合わせて打つ動作を計画・ボールの動きに合わせて始動
ジャンプしてボールを打つ	<ul style="list-style-type: none">・動いているボールを見る・ボールの動きを予測・ボールの動きに合わせてジャンプのタイミングを計画・ジャンプしながら打つ動作を計画

自己効力感

アルバート・バンデューラ（心理学者）

達成体験

自分が達成、成功した体験

代理体験

他者の達成、成功を観察した体験

社会的体験

褒められた経験、自己教示

生理的情緒的高揚

ドキドキやワクワクといった高揚感

イライラ、痠癢

頭の中の余白（余裕）が少ない



余白を

叩く、蹴る、壊す

筋肉活動（固有覚刺激）をすることでイライラ感を制御



運動の保証を

余白を

居場所や席などの固定（自分のスペースの確保）

視覚的、空間的な明確化

運動の保証

休み時間

ボール遊び（壁投げ、先生とキャッチボール）

花壇への水まき

先生のお手伝い

体育の時間

タオルで引っ張り合い

腕車

ボールでキャッチボール

保育園での対応

対応

- ・朝の15分～20分間、園庭のブランコで大揺れしてからクラスに行く
- ・ダイナミックな遊びの時間を1日1回
- ・順番は最初の方

経過

- ・半年後くらいには、多動は目立たなくなる
- ・姿勢の崩れも見られなくなる

Aさんに合った作業（活動）の提供

何を提供したらいいのか？ ⇒ ヒント：好きな感覚刺激

<p>好きなあそび</p> <ul style="list-style-type: none">・ 手遊び・ 絵本をめくる	<p>触覚刺激</p> <p>固有受容覚刺激が好き</p>
<p>人とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none">・ 要求の時：自分あるいは人の手を叩く・ 思いが叶わなかった時：人を叩く、噛む	<p>固有受容覚刺激</p>

どんな時に叩くのか

Motivation Assessment Scale (MAS)

(問題 行動の動機付けアセスメント尺度)

	要求	注目	逃避	感覚刺激	計
他者を叩く	12	9	9	5	35
他者を噛む	11	6	6	0	23
自分の手を舐める噛む	13	7	8	7	35
計	36	22	23	12	93

支援

要求行動の再学習

誤学習 ⇒ 要求の方法を教える

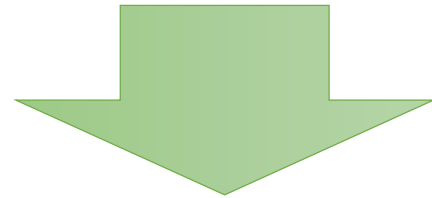
自己決定の経験

様々な経験

子どもの頃の経験の差は、青年期における手段的日常生活活動や
地域生活活動の学習に影響を及ぼす

その人に合った作業（活動）の提供

好きなこと、できることを見つける



情緒的な安定性

観察から

自己刺激

手もみ	触覚刺激、固有受容覚刺激
手を舐める	口腔内刺激
頭部を振る	前庭覚刺激、固有受容覚刺激
動かされること に対して	からだがグニャグニャ



求めている
(鈍磨傾向か?)



低緊張



求める刺激遊び
前庭覚刺激で筋緊張を高める

障害をもつ子どもとの交流

障害児とともに育つ障害のない子どもたちが、大人より障害児とのコミュニケーションが豊かである（鯨岡,2006）

発達障害児の友人との相互交流を分析した研究では、健常児と障害児が集団で交流する場合、健常児はスキルの獲得を要求される。しかも、健常児のスキルが向上するに伴って障害児もスキルが高まる（金,2005）

支援

※字の練習はしない

- ・ 構成あそび（パズル、ブロックなど）
- ・ ブランコで揺れながら目標物を見る
（前庭覚刺激：眼の動きの練習）

モノの比較：見ないで（固有受容覚、触覚）

眼球運動の段階付け

- ①自分もモノも静止している
- ②自分は動き、モノは静止している
- ③自分は制止し、モノが動く
- ④自分も相手も動く

手内操作スキル

触覚・固有受容覚

見ないで触って、比較

見ないで何を触っているのか探索

原因思考

掃除をしない原因

曖昧なことがわからない

視覚的な支援が必要



個別に

- ・ 指示理解
- ・ 視覚的な支援

結果思考

希望

掃除をみんなとしてほしい／したい

他の子がA君を認めてほしい



どうしたら希望が叶えられるか



Fくん、クラスメイト、担任もハッピー

みんなで話し合う

Aくんがどうしたら、みんなと掃除ができるか？

助言

Fくんについて

どこを掃除したらいいかわからないかも

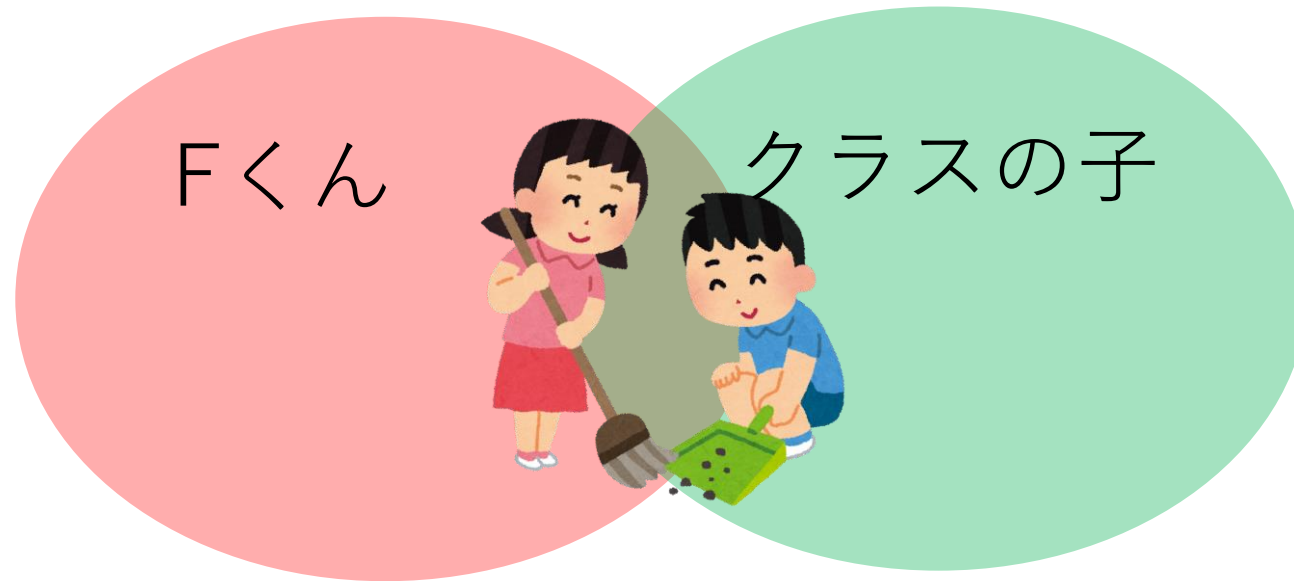
明確な目印があると掃除しやすくなるかも



Aくんができた



クラスメイト：「Aくんできるじゃん」



掃除を通して、Aくんとクラスメイトとのつながり

感覚の状態を知るための質問紙

日本感覚統合インベトリー

JSI-R (Japanese Sensory Inventory Revised)

HPよりダウンロード可能

<http://jsi-assessment.info/jsi-r.html>

SP感覚プロフィール

書籍

加藤寿宏監修、高畑脩平ら著：

子どもの理解からはじめる感覚統合遊び～保育者と作業療法士のコラボレーション～、クリエイツかもがわ

加藤寿宏監修、高畑脩平ら著：

乳幼児期の感覚統合遊び～保育者と作業療法士のコラボレーション～、クリエイツかもがわ

鴨下賢一編著：

発達が気になる子の脳と体をそだてる感覚あそび、合同出版

鴨下賢一編著：

発達が気になる子への生活動作の教え方、中央法規

鴨下賢一著：

発達が気になる子へのスモールステップではじめる生活動作の教え方、中央法規

書籍

鴨下賢一編著：

発達が気になる子への学校における合理的配慮、中央法規

井川典克監修：

みんなでつなぐ読み書き支援プログラム、クリエイツかもがわ

小林隆司監修：

学童保育×作業療法」コンサルテーション入門、クリエイツかもがわ

太田篤志著：

イラスト版発達障害児の楽しくできる感覚統合～感覚とからだの発達をうながす生活の工夫とあそび～、合同出版